

空手道の2020年オリンピック正式種目化を推進する会 12月のIOC臨時総会へ向け団結



全体の様子。記者も多数訪れ、注目度の高さが伺えた。



総会終了後も、笹川堯会長にオリンピックに向けた活動について報道陣より多数の質問が寄せられた。



挨拶する菅義偉・空手道推進議員連盟会長（右）と高村正彦・空手道推進議員連盟最高顧問（左）。

決議

空手はこれまで何度もオリンピック・パラリンピックの実施競技の候補になりながら実現できなかった。2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催にむけて本年12月に行われるIOCの臨時総会において実施競技会改革案がまとめられる方向である。

このIOC臨時総会を空手道の正式競技入りの絶好の機会であるとして空手道推進議員連盟は「日本の武道『空手道』の2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピックの正式種目採用に向けた活動を強力に推進する」を改めて決議し、下記の要望について政府並びに関係団体に強く申し入れる。

空手道のオリンピック・パラリンピック採用に向けて最大限かつ具体的にIOC並びにJOCに対し働き掛けを行うものとする。

以上

平成26年10月29日
空手道推進議員連盟
会長 菅義偉

Latest News

議員からも協力の声が多く

10月29日（水）、自民党本部にて、空手道推進議員連盟の第二回総会が開催されました。

『2020年東京オリンピック・パラリンピックでの空手道の正式種目入り』を最大の目的として活動を行っている空手道推進議員連盟には、10月30日（木）時点で110名の議員が加盟しています。

今回の総会では、菅義偉・議連会長、高村正彦・石破茂の両最高顧問を始め、多くの加盟議員が集結。別掲の決議案が満場一致で可決されました。また、12月

8日（月）、9日（火）に行なわれるIOC臨時総会で2020年の東京オリンピックでの実施種目の見直しについて議論がなされることを受け、それに向けて、議員連盟が一丸となって働きかけることを決議しました。今後、菅官房長官の名で関係各所に協力を要請していく方針です。

具体的活動として、全空連が実施する署名活動の協力にも積極的なご協力をいただき、また「全日本選手権のポスターを各議員事務所に貼り、PRしたい」などの声も多数いただきました。空手道のオリンピック種目入りに向け、全空連・加盟議員が団結しています。